

あなたの準備できていますか？
「さいごまで自分らしく生きる」を支えるために

地域医療構想と地域包括ケアシステム ～超高齢社会をともに生きる～

2025年を迎えるにあたり、私たちは今「人生の最終章を自分らしく生きる」をどう支え、地域包括ケアシステムの中でどんな役割を果たすべきかを真剣に考える岐路に立っています。

今回は、沖縄県立中部病院の高山義浩先生にお話いただきます。日本のみならず、国境を越えた現場での経験をもとに、地域医療や介護、感染症等の分野で幅広く発信されています。

今後の社会をともに担い、支え、生きていく。その糸口を考えていきましょう。

【講師】高山 義浩 先生（沖縄県立中部病院 感染症内科・地域ケア科）

福岡県生まれ。東京大学医学部保健学科、山口大学医学部医学科卒。
行政では2009年に厚生労働省においてパンデミック医療体制の構築に取り組んだほか、2014年に急速な高齢化に対応する地域医療構想の策定支援に従事した。
臨床では国立病院九州医療センター、佐久総合病院などを経て、2010年より現職。
感染症診療と院内感染対策に従事しながら、在宅緩和ケアにも取り組んでいる。
群馬大学医学部非常勤講師、神戸大学医学部非常勤講師、日本医師会総合政策研究機構非常勤研究員、沖縄県地域医療構想検討会議委員、沖縄県在宅医療・介護連携推進事業統括アドバイザー、うるま市高齢者福祉計画策定委員会委員。
著書として、『地域医療と暮らしのゆくえ 超高齢社会をともに生きる』（医学書院、2016年）など多数。



大学卒業後、世界の貧困・紛争をテーマに取材を重ねた後、医師となり、地域医療の前線でご活躍されています。これからの社会を支えたい全ての多職種に向けてご講演いただきます。皆様、お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

日時 平成29年 2月4日（土）
14時30分～16時30分（受付開始14時～）

会場 宇治市産業会館（宇治商工会議所）
3階大会議室

対象 医療・介護・福祉にかかわる多職種

* 参加費無料・申込不要です。多数のご参加お待ちしております。

主催：宇治久世医師会（看取り委員会）

お問い合わせ先：宇治久世医師会事務局 ☎ 0774-24-1711

